

ふるさと豊間だより

第4号 2012年12月20日

発行：豊間区・ふるさと豊間復興協議会

2013年 1月 サポートセンターの相談スケジュール

生活再建サポートセンターが開設しましたので、ここを利用して、住民のみなさまの悩み事の相談会を行っていくこととします。復興協議会のアドバイザーをお願いしている佐藤俊一氏（NPO美しい街住まい倶楽部理事長）に参加してもらい、毎週水曜と木曜に相談に応じてもらうことにします。佐藤氏は船橋の土地区画整理で、多くの地権者の相談を進めてこられましたので、今回も、良いアドバイスをいただけるものと思います。みなさま気軽にお集まりください。

いちおうテーマを決めていますが、あまりこだわらず、お茶でも飲みながら、どうしたら良いかを、ざっくばらんに話し合ってみる場にしたいものと考えています。

1月 9日(水)、10日(木) 10:00 ~15:00	<ul style="list-style-type: none">・区画整理の仕組みについて相談する会・高台移転などの換地について相談する会
1月 16日(水)、17日(木) 10:00 ~15:00	<ul style="list-style-type: none">・土地売却をどうしたらよいかについて相談する会・相続や贈与をどうすればよいかについて相談する会
1月 23日(水)、24日(木) 10:00 ~15:00	<ul style="list-style-type: none">・災害公営住宅の住まい方を考えてみる会・住宅ローンやリース契約の残債について相談する会
1月 30日(水)、31日(木) 10:00 ~15:00	<ul style="list-style-type: none">・仮設店舗の設置について検討する会・道の駅づくりについて検討する会



「住まいまちづくり担い手事業(国土交通省補助金)」 **住民ワークショップ後半の報告**

みんなが思っている疑問や希望について、互いに意見を出し合って、一緒に解決策や提案を考えてみるために、専門家を交えた「ワークショップ」(話し合い)形式で行いました。

災害公営住宅の住まい方について —中間報告提案を検討しました—

第8回「災害公営住宅の共用スペースや集会所を考える」 11月24日(土) 豊間公民館



◆住民の参加者 32名 14:00~16:30

◆主な意見 <<共用スペースが重要>>

- ・集会所と公園は一体として利用できるように。
- ・集会所はサロンとなるような場所にしたい。
- ・同じ階に住戸タイプを混ぜてほしい。エレベーターホール近くに交流のスペースを。
- ・バリアフリーの設計にしてほしい。

第9回「災害公営住宅の住まい方のルールを考える」 11月25日(日) 豊間公民館

◆住民の参加者 30名 14:00~16:30

◆主な意見 <<町会や隣組づくり>> <<ルールづくり>> <<自主的管理>>

- ・隣組が作りやすいように棟と棟をブリッジで繋いでほしい。
- ・町会づくりを進め、自分たちで管理できるようにしなければならない。
- ・掲示板やベンチを設置し交流をしやすくしたい。



いわき市 住宅課長に報告した内容 12月5日(水)に提出

中間報告の提案をもとに、災害公営住宅について、後半2回のワークショップで出た意見を下記のようにまとめ、協議会会長から住宅課長宛てに報告いたしました。

1 団地配置計画についての意見

- ◎ 集会所と公園は道路で分断することなく、一体で利用できるようにしたい。
- ◎ 集会所や公園は、豊間の他町会とも交流が図れるような地域の開かれた位置が良い。
- ◎ 居住者どうしを結びつけるため、花壇づくりのスペースや談笑のためのミニ広場などがあると良い。
- ◎ 住棟間、集会所、公園、広場及び外部とつなぐ安全な歩行者道が確保されており、歩行がさらに安全で快適となるよう工夫をお願いしたい。

2 集会所についての意見

- ◎ いつでも立ち寄り、みんなでお茶が飲める、住民のサロンのような場所となるような設計が望ましい。

3 駐車場についての意見

- ◎ 1戸に2台近くという要望に答えてもらってありがたい。しかし将来2台必要がなくなる場合もあるし、必要な駐車台数の精査をするなど、駐車場を他用途にも利用できるようなことも考えたい。

4 集合住宅棟の計画についての意見

- ◎ 隣組単位や親世帯と子世帯が同一棟に住めるように、単身世帯向け、2人世帯向け、3人以上世帯向けの住戸が混ざるプランとしてほしい。
- ◎ 隣組でのコミュニティを大事にするために、東西の住棟をブリッジで繋いで、同じ階で12戸の隣組ができると良い。
- ◎ コミュニティの交流が図れるよう、エレベーターホール周辺の工夫をお願いしたい。
- ◎ 若い世代に住んでみたいと思ってもらえるような、建物のデザインと色にしてほしい。
- ◎ バルコニーは、1.4m以上の幅員を確保してほしい。

5 その他の意見

- ◎ 高齢者や障がい者の入居が多いようにも思うので、対応できるバリアフリーの設計としてほしい。
- ◎ 各住戸、インターネット回線(光回線など)の接続ができる設備としてほしい。
- ◎ ゴミ集積所は各住棟から近いところで、カラスからの防御、掃除のし易い構造を考えてほしい。

復興後の生活と産業（まちづくり）について —中間報告提案を検討しました—

第7回「30代、40代の若手世代が集まって考える」

11月10日（土）18:00～20:45 豊間公民館
◆住民の参加者 名
◆主な意見 ・若い世代が戻るためには防災の安心安全が大事（記憶・教育・訓練・避難経路）・子供は学年を超えて一緒に遊ぶ、つながりが強い。子供が素直。豊間全体、海や山が子供の遊べる場所に。子供と高齢者が遊べるように。

第10回「女性が集まって考える」

12月8日（土）14:00～16:40 豊間公民館
◆住民の参加者 名
◆主な意見 ・子供を地域全体で育ててきた。
・婦人会の活動は伝統行事などへの参加など活発だった。
・震災後も継続して次の世代に継承したい
・道の駅などで婦人会が参加して地元産品を販売する。

第11回「産業復興を考える Part2」

12月8日（土）18:00～20:45 豊間公民館
◆住民の参加者 名
◆主な意見
・個人個人で再建するのは商店も民宿も工場も困難。
・道の駅のような形ができれば、そこで営業再開したい
・豊間には、ウニの貝焼き、地酒、牛乳、蒲鉾などの地場産品もあり、それらを復興したい。互いの連携が必要。

第12回「平場(既存エリア)の再生を考える」

12月9日（土）14:00～16:35 豊間公民館
◆住民の参加者 名
◆主な意見
・家の前の道路や嵩上げなどどうなるのか、土地区画整理の仕組み、土地の買い上げ方法なども良くわからない。
・復興情報が良く伝わらない。・海に行きやすいように防災緑地にトンネルを。・産業、生活拠点を1ヶ所に。



こ
案
内

住民ワークショップ 提言発表会

みなさま ぜひともご参加ください！！

みなさんが話した夢や希望、要望や意見をもとに、専門家の方々に提言をまとめてもらい、これからの豊間の災害公営住宅、まちづくりの目標にしていきたいと考えます。

平成 25 年 1 月 27 日(日) 14:00～16:00 場所:豊間公民館

※ 提言発表者：東京・豊間支援グループ専門家の方々

◆東京・豊間支援グループ

高見澤邦郎（東京都立大学名誉教授）、山本忠（日本不動産研究所顧問）、佐藤俊一（NPO美しい街住まい倶楽部理事長）、古里実（埼玉県住宅供給公社役員）、加藤仁美（東海大学教授）、松本暢子（大妻女子大学教授）、連健夫（建築事務所代表）、重永真理子（世田谷区職員）、藤井祥子（都市計画コンサル）、薬袋奈美子（日本女子大学準教授）、小川美由紀（八王子市都市政策研究所）、大桃一浩（大桃建設工業社長）

◆建築士会いわき支部青年・女性委員会メンバー

大森仁、浦木祐作、鈴木友和、佐藤透修、仲井健、工藤正樹、後田守、猪狩雅宏、神田まゆみ、岡田かおり、高久香代子、鈴木幸子、箱崎トシ子、初瀬

ワークショップの話し合いを支援してくれた専門家の方々

豊間区移動連絡所<<とよま絆号>>運行スケジュール

現地開設 10:00~15:00

25年1月

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
開設場所:地区	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
内郷雇用促進住宅(内郷地区)					○						○					
沼ノ内雇用促進住宅(沼ノ内地区)						○						○				
中央台高久仮設住宅(平地区)							○						○			
湯長谷雇用促進住宅(常磐地区)								○						○		
下神白雇用促進住宅(小名浜地区)									○						○	

日付	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
開設場所:地区	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
内郷雇用促進住宅(内郷地区)	○						○						○		
沼ノ内雇用促進住宅(沼ノ内地区)		○						○						○	
中央台高久仮設住宅(平地区)			○						○						○
湯長谷雇用促進住宅(常磐地区)				○						○					
下神白雇用促進住宅(小名浜地区)					○						○				

いわき建設事務所からのお知らせ

測量実施についてのお知らせ

福島県復興まちづくり事業の推進にあたりまして、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。さて、このたび福島県いわき市平豊間地内において復興まちづくり関連事業に伴う測量を実施致します。上記地内の測量を行うことにあたり、作業員が皆様方の所有する土地周辺に立ち入りますので、ご協力をお願い致します。



作業場所 いわき市平豊間地内
 作業内容 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により被災した沿岸部における復興まちづくり関連事業のための測量
 期 間 測 量：平成24年12月17日～平成25年 3月29日
 作業時間 午前8時30分～午後4時30分
 発注元 福島県いわき建設事務所 企画調査課
 住 所 福島県いわき市平字梅本 15 番地
 電 話 0246-24-6143
 測量会社 株式会社 東コンサルタント
 電 話 0246-23-8361(測量2課直通)
 担 当 測量2課 松本 英夫(090-2796-9416)
 高橋 大樹(090-4311-1919)